

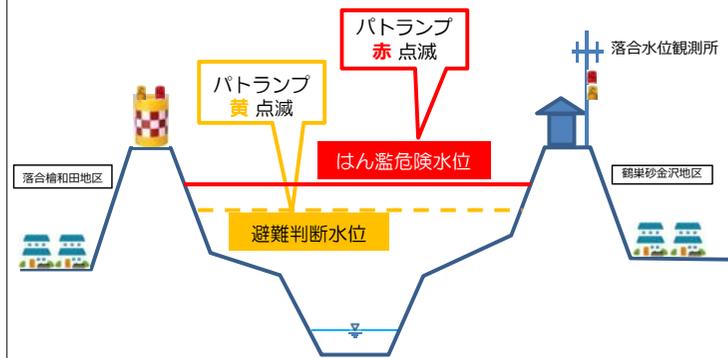
H28.9.8 全国初！吉田川で簡易アラートの運用を開始

- 平成28年9月8日、「鳴瀬川等の減災に係る取組方針」の一環として、昨年の関東・東北豪雨により越水した吉田川27.3k付近の2箇所（大和町落合檜和田地区、鶴巣砂金沢地区）において、住民の避難行動等に資する「簡易アラート装置」を全国で初めて試験設置しました。
- 試験設置と併せ、両地区の住民や消防団など計15名に対する説明会も実施し、住民の方々からは「夜だと危ないので、こういうものがあれば、堤防まで行かなくても見ることができる」「肉眼で、間近に危険を確認できるので、早めの対策なり、避難ができると期待している」という声が聞かれるなど、住民の円滑な避難への一助となり、水防災意識を向上させる取組となりました。

【位置図】



【簡易アラート設置イメージ】



はん濫危険水位
町長が住民に避難勧告等を出す判断の目安の一つとなる水位

避難判断水位
町長が要配慮者等に避難勧告等を出す判断の目安の一つとなる水位

【点灯情報の取扱（留意点）】

- 本装置の回転灯による情報は、あくまでも市町村からの避難勧告、避難指示等の情報を補うものとして地区住民等の方々に活用していただくものです。
- 本装置は、水位がある一定の高さまで上昇した際に、回転灯により周辺住民の避難を促すこと等を目的として、当事務所が試験的に開発しているものです。今後、試験設置及びモニタリングを進め、仕様等見直していく予定です。

【落合檜和田地区】



住民説明の様子

【鶴巣砂金沢地区】



住民説明の様子

【住民の意見】

- ・現場まで来なくても遠くからでも分かるので大変楽。
- ・住民もすぐ分かるし、消防団がパトロールしてもすぐ分かるのでごく頼もしい。
- ・夜だと危ないので、こういうものがあれば、堤防まで行かなくても見ることができる。
- ・水害が多い地域に、こういったものが設置されれば良いと思う。
- ・肉眼で、間近に危険を確認できるので、早めの対策なり、避難ができると期待している。
- ・家からでも道路からでも水位が確認でき、判断できるのが一番。
- ・早めに避難準備等を取る事によって住民が安心できる。
- ・事前の準備、問い合わせがあった時、現状の水位を今までよりも早く伝えることができる。

試験設置期間(H28.9.8~H28.11.30)